



広陵町

No.123

令和5年11月1日



議会だより



予約型乗合バス
のるーと広陵元気号スタート!

目次

P.3	議会News
P.4	決算審査
P.8	臨時会・定例会
P.12	一般質問
P.26	委員会の窓

広陵町新地域公共交通

のるーと広陵元気号 開始!

のるーと広陵元気号とは?

広陵町に令和5年7月1日から試験導入された予約型乗合バスで、町内約150か所の乗降場所間に行きたいときに移動可能です。予約はスマートフォンや電話から可能です。3か月の実証期間を経て、10月1日有償での本格運送がスタートしました。



ここが便利

お酒を飲むイベントに行くときに便利!
(馬見北・40代・女性)

駐車場がない場所に行きたいときに便利です。
(中・80代・女性)

アプリで予約すると、バスが何時に到着するか分かって便利です。
(疋相・20代・男性)

運転手さんが親切でした。
(赤部・40代・女性)

車が無いので雨の日のお買い物に便利です。
(大塚・20代・女性)



ここが不便

電話で予約したのだが、炎天下の中30分以上待たされた。
(馬見南・80代・女性)

田原本駅や大和高田駅など、近隣自治体にも乗り入れて欲しい。
(広瀬・30代・男性)

目的地まで到着するのに、遠回りをしてとても時間がかかった。
(馬見南・70代・女性)

アプリの使い方が分からない。
(70代・女性)

運行時間が9時から17時なので通勤に使えない。
(20代・男性)



令和5年10月1日から、以下の点が変更になりました!

- ◎現金に加え、スマートフォン(ペイペイ、楽天ペイなど)・交通系ICカードによる決済、回数券ほか、アプリとクレジットカードの連携による事前決済にも対応
- ◎電話受付時間を8:30~16:30に変更し、国保中央病院行きのみ8時半から運行開始
- ◎12人乗り車両に変更、ローステップが出てくる車両なので乗降の負担軽減 等

もっとここをこうして欲しい!というご意見や、ご要望がある方は、ぜひお知り合いの議員か、議会事務局までお寄せください。

議会News

DX研修を受講しました!

広陵町DX推進計画の策定に向けて、9月26日(火)に富士通Japan株式会社から議会議員向けのDX研修を実施しました。DXの概要にはじまり行政手続きのデジタル化など他の自治体における行政DXの事例など、幅広く解説がありました。

また、9月10日(日)に開催された町民向けのDXワークショップの報告も行われました。ワークショップでは、広陵町について「大きな公園・イベントが多い」という良いところや、「移動が不便」という課題等が共有されて、良いところや課題を踏まえた上で、広陵町の10年後まちづくりについて、いろいろなアイデアが出されました。



上牧町議会行政視察

8月29日(火)、上牧町議会広報委員会委員7名と議長、事務局の合計9名が来庁され、広陵町議会が発行している議会だよりの作成についてと、予約型乗合バス「のるーと広陵元気号」の取り組み状況について研修が行われました。

議会だよりについては、議会に対する町民の理解・関心度を高めるため工夫している点や、更なる開かれた議会を目指して取り組んでいる点などを紹介しました。続いて、7月から実証運行している、予約型乗合バス「のるーと広陵元気号」について、現状の取り組み状況等について紹介しました。

質疑応答では、それぞれの議会における実情を交えて意見交換を行うことができました。



食育学校給食納入組合の皆さんと話し合い

9月8日(金)に、組合員さん5名と議員が給食物資納入の現状について、話しを聞きました。50年以上、給食物資を朝早くから各小学校に配送納品していただいている業者さんもおられます。高齢化が進み、廃業された業者さんもおられ、今後のあり方について深刻な問題となっております。

引き続き、安全でおいしい食材の提供をお願いします。



歳出
総額

137億 5,312万円

決算 審査

徹底チェック
何に使ったの？

つぎのように使われました
令和5年3月31日現在の人口(35,222人)で計算すると

町民1人当たり **390,470円**

check
□
□



他会計操出金・その他の経費
(災害復旧費・諸支出金)

11,299円 (+16.9%)

議会運営の経費

3,295円
(▲1.1%)

町債(町の借金)返済に係る元利

27,894円 (▲22.1%)

小・中学校及び幼稚園の
管理・生涯学習・スポーツ振興・
文化財保全の経費

40,194円 (+1.7%)

消防・防災事業等の経費

12,610円 (▲3.0%)

道路・公園・町営住宅等の
整備及び維持管理の経費

41,908円 (+13.8%)

農業・商工業・観光振興
事業の経費

10,519円 (+3.0%)

健康増進・ごみ処理・
環境保全事業等の経費

41,327円 (▲11.8%)

人事・企画・財政・
戸籍・統計・選挙及び
交通安全の経費

53,052円
(▲19.5%)

高齢者福祉・障がい福祉・
児童福祉等の経費

148,372円
(▲9.8%)

議会が注目する主な事業！



▲西谷公園整備事業(パーゴラ)



▲赤部26号線西小学校東側拡幅工事



▲広陵グリーンドーム



▲図書館25周年記念事業 新図書館バッグ

一般会計	
議会費	1億1,604万円
総務費	18億6,861万円
民生費	52億2,597万円
衛生費	14億5,563万円
農商工費	3億7,049万円
土木費	14億7,608万円
消防費	4億4,413万円
教育費	14億1,570万円
公債費	9億8,250万円
その他 (災害復旧費・諸支出金)	3億9,797万円

令和4年度決算
どう活かされた私たちの税金



一般会計

歳入
総額

144億 2,324万円

どこからお金が入ったの？

皆さまから納められた町民税、固定資産税、軽自動車税など

54億 7,443万円 [自主財源]

国や県から割り当てられた補助金や交付金

89億 4,881万円 [依存財源]

歳入歳出差引残高 6億7,012万円

繰越明許費 9,416万円

実質収支額(黒字) 5億7,596万円

[繰越明許費]とは・・・年度内に終わることのできない事業を、次年度に繰り越す経費

町税や使用料などの収納状況

項目	収入額	収納率(現年)
町民税	22億5,122万円	個人 99.74% 法人 99.83%
固定資産税	16億5,825万円	99.70%
軽自動車税	9,667万円	環境性能割 100% 種別割 99.77%
たばこ税	1億8,452万円	100%
住宅使用料	915万円	92.88%



財政健全化判断比率

比率名	令和4年度
実質赤字比率 一般会計の赤字の割合 (13.70%以下)	—
連結実質赤字比率 全ての会計の実質赤字の割合 (18.70%以下)	—
実質公債費比率 借金返済額の割合 (25.0%以下)	7.2%
将来負担比率 将来負担すべき実質的な負債の割合 (350.0%以下)	24.8%

※()内の基準を超えると財政上の制限が掛かります。
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」表示となります。

各特別会計の決算状況

項目	歳入	歳出
国民健康保険	34億9,833万円	34億8,369万円
後期高齢者医療	5億62万円	4億9,985万円
介護保険(保険事業) 介護サービス事業勘定	26億1,292万円 1,903万円	25億3,302万円 1,834万円
墓地事業	1,614万円	1,614万円
学校給食	3億582万円	3億582万円

会計名	収入	支出
水道事業(収益的収支のみ)	8億2,493万円	8億260万円
下水道事業(収益的収支のみ)	11億1,815万円	9億9,578万円

政務活動費について

広陵町議会では、議員一人あたり年間12万円を上限として年度末に領収書等を添付し、使用分だけ精算する後払いとなっております。
令和4年度の実績は870,564円。



決算状況の詳細は
広報「こうりょう」
10月1日号に掲載

QRコード





決算審査

質疑

特別委員会

歳入

問 普通交付税の新規算定項目とその推移は。

答 地域社会再生事業費が令和2年度から、地域デジタル社会推進事業費が令和3年度から追加された。また、推移については、2か年で約13億円が増加している。

問 町有地売却収入の内容は。

答 旧馬見南一丁目集会所跡地である。土地面積は200㎡、建物150・72㎡を一般競争入札により決定した。

歳出

総務費

問 ふるさと納税にかかる経費内容は。

答 返礼品は寄付額の30%、募集にかかるポータルサイトの経費は50%と定められている。

問 オンライン申請システムについては、広範囲に活用できないのか。

答 マイナンバーカードの給付により

行政各分野での展望を広めていく。

民生費

問 がん患者においては2年以内に自殺されるリスクが高いが対応策は。

答 ゲートキーパーの養成講座を積極的に取り入れ、地域でのフォローができればと考えている。

問 南保育園、広陵北かぐやこども園ICT化推進事業とはどのようなものか。

答 園児の登降園時刻をリアルタイムで把握できるとともに連絡帳等の利便性の向上と事務負担軽減が図れる。

衛生費

問 妊産婦健康診査負担金について14回の健診回数を増やせないのか。

答 現時点では14回を超えての健診は少ない。多胎妊婦健診の場合、その対応はしている。

農商工費

問 行政のデジタル化に伴い、本庁舎

機能を一体とした複合施設の建設を想定するが、具体化まで時間を要することから、グリーンパレス改装の方向は。

答 当館のあり方については、民間事業も踏まえサウンディング調査を実施し広く多方面での用途を検討する。

土木費

問 赤部26号線道路路整備については、所管課と調整しながら早期全線完了を目指すとするが。

答 西校区の児童及び学童は増加の一途である。今後、あすなるクラブ、第2クラブの移転若しくは建て替えを総合的に検討していく。

消防費

問 非常備消防団のカップの貸与について長時間の作業をすると水がしみ込むと聞くが。

答 水防活動の重要性に鑑み、安全に活動できるよう貸与したもので、所期性能を維持できるように手入れの啓発に努める。

教育費

問 近畿・全国大会等出場費補助金については、スポーツ振興でもあり、生徒学校にとって好影響であるにもかかわらず、少額であると思うが。

答 令和4年度は、広陵中で3件、真美中で3件の計6件であった。今後様々な出場機会をとらえ、要綱に沿って補助をしていきたい。

問 図書館システムの入替事業の目的、趣旨は。

答 現有システムも6年を経過し、時代とともにネット環境も変わり更新したもの。今回のシステムでは、学校図書館との本の貸し借りが可能となり、いずれは、学校間での児童の調べ学習の幅が広がるのでは、と考える。

国民健康保険 特別会計

問 社会保険制度の適用条件が拡大されたことにより、国保国庫支出金が抑制されるのでは。

答 社会保険制度の資格を広げると、国保加入者を減らすことにはなるが、社会保険の運営も厳しくなっている。セーフティネットである国保については今後も国・県の支援をお願い

していく。

問 特定健診の受診率、特定保健指導者の対象者について、複数年にわたって受診勧奨をしても利用されない方が多いが、その対策は。

答 特定健診受診率は約40%を超えており、特定保健指導者については、受けられる方が非常に少ない。これまでの業者委託から令和4年度は職員自らが、よりその人の生活を見ながら指導をしている。

墓地事業 特別会計

問 石塚霊園の新規使用者数、返還の件数、返還額は。

答 近年では、6区画から7区画で金額は97万円である。返還は令和3年度23区画で、486万4千円、令和4年度17区画で、658万8千円となり、墓じまいや、遠方に移られる方が多くなっている。

学校給食 特別会計

問 調理委託業者から、食材の品質について不安の声などあがっていないか、また、委託業者

が撤退するといった報道があったが、本町の契約条件はどうか。

答 調理員からは、野菜は品質良く調理しやすい食材を選んで納入いただき、喜んでおられる。また、委託契約については、解除申し出を可能とし、提供が困難となった場合は、代替業者が調理する契約を提携している。

問 香芝市との共同による運営をしているが、30年間で1億円の借地料を放棄したといえるが、回収してはどうか。

答 共同設置したことによる給食費用のコストダウンは明白であり、借地料が無償であっても有利なものである。

水道事業会計

問 退職給付引当金の戻入はどのようなものか。

答 自己都合による職員の退職金を積み立てていたが、人事異動により在籍がなくなり、特別利益として戻入したものである。

決算審査特別委員会

委員長	笹井	由明
副委員長	坂野	佳宏
委員	堀川	季延
委員	吉村	眞弓美
委員	岡本	晃隆
委員	青木	義勝
委員	八尾	春雄

令和5年8月議会提出議案

議案番号	件名	概要
議案第58号	馬見川調整池整備工事（2工区）に係る請負契約の締結について	馬見川の調整池整備工事に係る請負契約1億3,685万7,600円

令和5年9月議会提出議案（議案は採決し、報告は町長専決の報告）

議案番号	件名	概要
報告第13号	令和4年度広陵町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	すべて基準となる指数以下で資金不足なし
報告第14号	令和4年度広陵町土地開発公社の経営状況報告について	箸尾準工業地域の開発を担う土地開発公社の経営状況につき報告を受けた
議案第59号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	任期満了に伴う人権擁護委員について再任用を同意
議案第60号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	任期満了に伴う人権擁護委員について再任用を同意
議案第61号	広陵町監査委員の選任につき同意を求めることについて	任期満了に伴う監査委員について再任用を同意
議案第62号	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	任期満了に伴う教育委員会の委員について再任用を同意
議案第63号	広陵町印鑑条例の一部を改正することについて	多機能端末による印鑑登録証明書の交付申請について、マイナンバーカードを利用する方法に加え、スマートフォンを使った方法を追加する改正
議案第64号	令和5年度広陵町一般会計補正予算（第3号）	アピアランスケア支援事業費や防火水槽設置事業負担金などを計上
議案第65号	令和5年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	国民健康保険の産前産後期間の保険税免除制度に伴うシステム改修費を計上
議案第66号	令和5年度広陵町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	広域連合から委託されている事業につき、一般会計に事業費を移すための減額補正
議案第67号	令和5年度広陵町介護保険特別会計補正予算（第1号）	前年度の精算
議案第68号	令和4年度広陵町一般会計歳入歳出決算の認定について	令和4年度決算認定
議案第69号	令和4年度広陵町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	令和4年度決算認定

議案番号	件名	概要
議案第70号	令和4年度広陵町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	令和4年度決算認定
議案第71号	令和4年度広陵町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	令和4年度決算認定
議案第72号	令和4年度広陵町墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について	令和4年度決算認定
議案第73号	令和4年度広陵町学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について	令和4年度決算認定
議案第74号	令和4年度広陵町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和4年度決算認定
議案第75号	令和4年度広陵町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和4年度決算認定
議案第76号	公私連携幼保連携型認定こども園設置及び運営に関する協定について	東校区の公私連携幼保連携型認定こども園の整備及び運営を行う法人を指定するにあたり、必要な事項について協定書を締結するもの
議員提出議案第5号	決算審査特別委員会設置に関する決議について	決算審査のため7名で委員会を設置する
議員提出議案第6号	現行の健康保険証の継続を求める意見書について	現行の健康保険証の継続を求める



議会の傍聴にお越しく下さい！

議会はみなさんに公開しています。気軽に来てください。



町議会本会議は、役場3階の議場で、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。
 日程については、議会事務局までお問い合わせください。
 ホームページにも掲載予定です。

令和5年9月定例会 議案採決状況一覧(○賛成 ×反対) ※採決が分かれた議題のみを載せております。

議案	坂口友良	堀川季延	千北慎也	山田美津代	笹井由明	山村美咲子	坂野佳宏	谷禎一	吉村裕之	吉村眞弓美	岡本晃隆	青木義勝	岡橋庄次	八尾春雄	議決結果
議案第68号	○	○	○	×	○	議長は採決にわりません。	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
議案第69号	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	×	認定
議案第70号	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	×	認定
議案第71号	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	×	認定
議案第73号	×	○	○	×	○		○	×	○	○	○	○	○	×	認定
議員提出議案第6号	○	×	×	○	×		×	○	×	×	○	×	×	○	否決



賛成	反対	議案第69号 令和4年度広陵町国民健康保険 特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成	反対	議案第68号 令和4年度広陵町一般会計 歳入歳出決算の認定について
令和6年度の統一保険料率に向けて、また、適正税率の設定を目指し、急激な負担増を避けた段階的な保険料率の改定を実現している。被保険者の健康の保持増進のため、各種事業に継続的に取り組んでいる。こうした事業運営の中で、決算においても、適正に執行されていることから、賛成である。	令和6年に県統一化される予想国保税が示されているが、年収400万の3人家族で5.7%上がる予定。物価高騰で苦しい生活を強いられている町民のために一般会計から繰り入れて保険税が上がらないような手立てをとらず町独自の減免制度の存続も努力されないことから賛成できない。	税徴収において、高い徴収率を維持され一般財源の確保に努めている。水害対策のための貯留施設整備や大詰めを迎えた菅尾準工業地区の道路整備など成果が視える。その他、子育て関連事業や公共交通の推進など生活に密着した事業を適切に対応されている。	初めて積立基金が30億円を突破し土地開発公社への貸付7億円と合計すると37億円になる。借金は交付税算入を相殺すると55億円なので今後は住民の要望の強いものを検討してほしい。人口増は税収の増加に必ずしも貢献していない。要望の強い中央公民館は建て替えの決断を求める。民間委託は受託者が「利益」を求めることを肝に銘じて対応を。民間土地の賃借料は実態に応じて見直しを。町づくり協議会は住民合意を前提に慎重な対応を。本人の了解がない若者名簿の自衛隊への提出は中止せよ。菅尾準工業整備で生じている住民間の軋轢に適切な対応を。会計年度職員労働環境の改善を。議会の議員報酬や期末手当等については議会の意見尊重を。高いゴミ袋の半額実現を。	初めに積立基金が30億円を突破し土地開発公社への貸付7億円と合計すると37億円になる。借金は交付税算入を相殺すると55億円なので今後は住民の要望の強いものを検討してほしい。人口増は税収の増加に必ずしも貢献していない。要望の強い中央公民館は建て替えの決断を求める。民間委託は受託者が「利益」を求めることを肝に銘じて対応を。民間土地の賃借料は実態に応じて見直しを。町づくり協議会は住民合意を前提に慎重な対応を。本人の了解がない若者名簿の自衛隊への提出は中止せよ。菅尾準工業整備で生じている住民間の軋轢に適切な対応を。会計年度職員労働環境の改善を。議会の議員報酬や期末手当等については議会の意見尊重を。高いゴミ袋の半額実現を。	初めに積立基金が30億円を突破し土地開発公社への貸付7億円と合計すると37億円になる。借金は交付税算入を相殺すると55億円なので今後は住民の要望の強いものを検討してほしい。人口増は税収の増加に必ずしも貢献していない。要望の強い中央公民館は建て替えの決断を求める。民間委託は受託者が「利益」を求めることを肝に銘じて対応を。民間土地の賃借料は実態に応じて見直しを。町づくり協議会は住民合意を前提に慎重な対応を。本人の了解がない若者名簿の自衛隊への提出は中止せよ。菅尾準工業整備で生じている住民間の軋轢に適切な対応を。会計年度職員労働環境の改善を。議会の議員報酬や期末手当等については議会の意見尊重を。高いゴミ袋の半額実現を。

議案第70号

令和4年度広陵町後期高齢者医療
特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

高齢者は定期的な受診が必要な病気を抱え、貯蓄や生活費を削り何とか受診している。過重な保険料を引き上げる今の政策は、到底容認できない。昨年10月から医療費2割負担制度が導入され、高齢者の負担が二気に重くなった。広陵町議会は、この決定に関与できない仕組みになっていることも問題だ。

賛成

窓口負担が昨年10月より2割に変更されたが、3年間は増額を3,000円までに抑える配慮措置がされて、受診件数の減少状況もないが、今後も生活困窮の高齢者に特別の配慮を求め、医療費の適正化に向けて各種予防施策を推進し、健康寿命を延ばす取り組みを求めて賛成。

議案第71号

令和4年度広陵町介護保険
特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

社会保障削減路線のもとで、サービス取り上げや負担増の改善が繰り返され介護保険だけでは在宅生活を維持できない。介護離職などの問題で高齢者だけではなく現役世代にも最大な不安要因となっている。高齢者の孤独死や殺人心中など痛ましい事件も起きている。いま制度見直しをしないと団塊の世代が高齢化して入れる施設がなく悲惨な状況が生まれる。介護従事者への支援も必要。要介護4・5の場合、事業所によっては「対応できない」と断る場合もある。保険料の負担を義務付けながら介護が受けられないのは国家的詐欺との指摘がある。

賛成

介護を必要とする高齢者を支える制度として介護保険制度は定着している。認知症サポーターのさらなる拡大や、認知症初期集中支援チームといった早期対応に向けた支援体制構築にも取り組むことで、地域共生社会の実現を目指し、多様なニーズに対応しようとしていることから、議案第71号には賛成。

議案第73号

令和4年度広陵町学校給食
特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

491の市町村で給食無償化が進んでいるのに、広陵町だけが小学校給食費値上など、物価高騰で苦勞している子育て世帯への冷たい対応は許されない。センターの香芝側土地使用料(30年で1億円と町が試算)を放棄しながら小学校給食費の引き上げを保護者に求めるは明らかに論理に貫性がなく、全国展開している給食会社ユーザーが急に事業から撤退して大問題になっている。給食は自校方式、直営が望ましいのは言うまでもない。

賛成

多子世帯に対しての新たな給食費補助が実施され、無償化は国の支援制度に期待するところである。給食業務についても、民間委託におけるメリットを活かし適切に運営されており賛成。

議員提出 議案第6号

現行の健康保険証の継続を求める
意見書について

反対

来年秋に現行の保険証を廃止し、「マイナ保険証」に一本化すること起因するトラブルは、マイナンバー情報総点検本部で善処されている。重複する保険証の混在は、かえって関係機関の事務を煩雑にさせることになり反対。

賛成

町内の医院に聞いてみると、ほとんどの人は保険証で受診されてマイナンバーカードを持ってくる人はいない。持ってこられても間違いがあると手間がかかり大変。こんな不安だらけの中で健康保険証廃止はあまりにも勝手に進み過ぎである。念のため、まさかの時に備えて現行の健康保険証を継続して欲しいというこの意見書に賛成。

一般質問

町政を問う



やまむら みさこ

議長 山村 美咲子

谷 禎一 議員(13ページ)

- 防災組織の有効活用で町防災力の向上を
- 地域コミュニティは崩壊寸前 早急な対応を
- 中央公民館建て替えて混乱が続く

岡橋 庄次 議員(14ページ)

- 自然災害への備えについて
- 公共交通の大幅なりニューアルについて

吉村 裕之 議員(15ページ)

- 農業を守るために将来の展望を考える
- 住民利益と職員の育成につながる行政評価を

坂口 友良 議員(16ページ)

- 箸尾準工予定企業の外国人労働者受入れは
- 学校教員の働き方改革の推進策は
- 障害福祉受給者証数からみる障害福祉体制は

青木 義勝 議員(17ページ)

- のるーと広陵元気号を更に利用しやすく

坂野 佳宏 議員(18ページ)

- ドッグラン試行経過について
- プラスチック被覆使用の現状

八尾 春雄 議員(19ページ)

- これまで要望が出ている課題の見通しについて
- 学校教材費について
- 指定ゴミ袋について

堀川 季延 議員(20ページ)

- 新型コロナウイルス感染症対策の現状は
- 食物アレルギーに関する調査結果について

岡本 晃隆 議員(21ページ)

- 箸尾駅地区開発の進捗状況について
- 子育ての充実に向けて

吉村 真弓美 議員(22ページ)

- ヤングケアラーの支援強化について
- 献血教育について
- カーボンニュートラルの取り組みについて

山田 美津代 議員(23ページ)

- 公共交通をもっと使いやすく
- 軽度生活支援制度の周知を
- 各学校の暑さ対策の見直しを

千北 慎也 議員(24ページ)

- こどもまんなか社会へ自治体でできることを

一般質問を9月12日～14日に行いました。

なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細につきましてはインターネット中継、または会議録をご覧ください。

会議録は、12月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページにも掲載する予定です。

①答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部次長の発言を要約して掲載する場合に用いています。



地域防災

防災組織の有効活用で町防災力の向上を



谷 禎一 (たに よしかず)

問

①令和3年12月議会で「防災組織の活用でハザードマップの作成を」と一般質問したが、その後の取り組み結果は。

②町の全避難施設は建物及び天井などを含め安全性を再度確認したい。

③提案・備蓄倉庫前に対象区域と住民数、受入れ可能人数、備蓄品の種類と数量を掲示して、住民への周知と皆で適正な備蓄品と数量を考慮する資料とする。また、毎年1〜2回掲示内容を更新すれば防災意識の継続を図れる。

町長

①地域防災計画を作成中。令和6年に洪水マップを見直す。

②全避難施設の安全は確認済み。

③考えていく。指定避難場所12か所は備蓄スペース確保、6か所は保管場所確保に努める。

まちづくり

地域コミュニティは崩壊寸前 早急な対応を

問

①令和3年、4年6月議会で「地域崩壊の危機」を訴え、一般質問したが、その後の取り組み結果は。

②高齢化で、自治会自体の運営ができなくなっている。自治基本条例の「住民自らが主体でまちづくりをする」基本方針自体が住民に理解

町長

①区長・自治会長会で意見交換や地域担当職員によるコミュニティカルテの更新を行った。

②町PTAや民生委員に周知、リーフレットを作成して小中学校への出前授業を実施。

③継続した取り組みを行っていく。

中央公民館

中央公民館 建て替えて 混乱が続く

①自治会等で町行政業務（広報配布、道路・公園の清掃、その他）の補助作業などができなくなる。

①区長・自治会長会で意見交換や地域担当職員によるコミュニティカルテの更新を行った。

②町PTAや民生委員に周知、リーフレットを作成して小中学校への出前授業を実施。

③継続した取り組みを行っていく。

その他の質問事項

○明るく楽しい放課後 育成教室正常化へ

問

①早期建て替えがなくなったのであれば、トイレ改修より安全面の改修が優先されるべきでは。

②東洋大学の報告書は適正ではない。継続して委託する同大学が提出される資料や報告書をどの程度信頼して取り扱うのか。

町長

①住民が要望されているトイレの改修を行う。大規模改修での法令違反建築物の撤去や正は総合的メリットがない。

②同大学で検討はしているが最終的には町が判断する。



治水対策

自然災害への
備えについて

問 ①近年、集中豪雨による被害が顕著になっており、本年も6月2日に大場地区で田畑が冠水状態になったのは、本町が目指す安全・安心して過ごせる町づくりに、甘さがあつたのではないか。

②将来、台風襲来の状況下で線状降水帯が発生し、集中豪雨が持続するといった事態を想定した場合、大場地区の集落が惨事にならないための対策として、広瀬川改修工事以外にどのようなことを考えているのか。



町長

①平成29年の豪雨による大規模な内水被害を契機に、国・県・市町村が連携して緊急内水対策に取り組んでいる。洪水時に河川水が冠水するため、遊水池や調整池を設け、被害の軽減を図り調整池を推進している。

②防災行動とその実施主体を時系列で整理したタイムラインを活用し、町及び住民の連携による水害訓練を実施して防災意識の向上に努めている。また、避難困難者等をバスなどの車両輸送にて安全に避難できるように取り組んでいる。



公共交通

公共交通の大幅な
リニューアルについて

問 本年7月1日から大幅なリニューアルを実施され、百済・広瀬地区の利用も改善されたが、以下の事項をお伺いする。

①百済寺公園北（第三分団前）のバス停を百済寺公園への変更。

②広瀬地区のバス停は離れており遠いため、改善について。

③中央幹線の運行増便について。

④中央幹線への乗換が必要ないため、運賃が倍額になるため、乗り継ぎ運賃の検討について。

⑤のるーと広陵元気号の専用アプリの普及について。

おかはし しょうじ
岡橋 庄次

町長

①②のバス停位置については、中央幹線は奈良交通の休廃止路線の補完を目的とし、32人乗りバスにて運行のため、狭い道路運行は困難。

③10月より第4便と第8便を増便予定。「広陵元気号利用ガイド」に掲載してあるのを確認を。

④のるーと広陵元気号の有償運行後に、利用実態を見て総合的に検討する。

⑤地区からの依頼があれば出向いて説明する。



農業

農業を守るために
将来の展望を
考える



よしむら ひろゆき
吉村 裕之

行政評価

住民利益と職員の
育成につながる行
政評価を



問

① 本町におけるスマート農業（ロボットやICT等の技術を導入した農業）の位置付けと課題等は何か。

② 収益のである農業、農地の集約化・大規模化への今後の予測は。

③ 町・町民・農業者・金融機関等が出資する農業法人を設立し、農地・農家と農業を守ることへの見解は。

者の育成等の課題がある。

② 小規模農業で収益をだすのは難しく、高収益作物を作らないと儲けはでない。集落営農組織の立上げが重要であるが、法人化すると経理や労務等の課題があり、その支援をどうするか役場・JAが試されると考える。各地域で相談し地域計画をつくり、農地を地域で守る取組をしていく。

③ 設立するのは良いことと考える。それまでは、農地のある所は住民が一緒になって作物をつくり、一緒に食べるものが出れば良いと考える。

問

① 地域課題を解決させる事業の立案と評価には、職員の分析力と仮説力が必要と考えるが。

② 分析に基づいた評価による事業の大胆な方向転換は住民の利益となるが、それを認める職場環境になっているのか。

③ 有効な評価に向けた今後の取組は。

② 事業実施にあたっては、真の目的やねらいの共通認識、上司が部下の気づきを活かす、部下が疑問を言える雰囲気、関係性があることが大前提になると考える。

③ 事業がどう改善されたか、予算編成時に財政担当と連携を図る。また予算配分や人事評価への反映など、前向きに施策・事業を改善・改革していけるインセンティブの仕組みの導入を検討する。

理事者

理事者

① 農作業の省力化や熟練者の技術、ノウハウのデータ化が可能となるなどメリットも多く必要不可欠と考える。導入費用の問題や知識習得

理事者

① 必要不可欠である。業務の知見に基づいて仮説をたて、データ分析の結果との比較精査によりズレを発見することは、次の分析に繋がる。



産業政策

**箸尾準工予定企業
の外国人労働者受
入れは**

問 町内でも、よく外国人の技能実習生を見かけるようになった。国の制度改正で在留期限がなくなり、家族帯同可と実質的に移住可能になった。実際に町内で永住となると、学校の受入体制まで今から準備が必要になる。

現在、広陵町に住民登録している実習生は、何人で今後どうなっていくと考えているのか。

町長

外国人労働者は、本年8月31日現在で121名である。箸尾準工地域に進出する予定企業では、現在10名程度、新たに計画している企業もあり、



さかぐち ともよし
坂口 友良

事業拡大に伴い増加する可能性はある。企業からしっかり情報提供していただき適切な調整をはかる。

教育体制

**学校教員の働き方
改革の推進策は**

問 文部科学省は、来年度からスクールスタッフや学習指導員を増加して教員の欠員を補おうとしているが、支援スタッフなどは、確保できているのか。

教育長

来年度にスクールスタッフの登用に向け、国の補助金を活用して予算計上していきたい。教員の欠員は3名で、県教育委員会は元より、町としてもあらゆる手だてで探して

いるが、まだ見つからず地域の協力や議員の協力も願いたい。

障害福祉

**障害福祉受給者証
数からみる
障害福祉体制は**

問 実績報告の療育手帳所有者数は毎年微増だが、給付の実績から受給者証は増加している。それに伴い、社会福祉課、こども課、保健センター、子育て総合支援課まで業務が急増しているため、人員体制の強化が必要であるが、どうか。

町長

給付実績は、障がい児給付が3年で倍増するなど、受給者証の交付をはじめ、事務量の増加や専門化している状況である。強化策として、助産

師や社会福祉士などの専門職の採用試験の申込受付を開始している。



公共交通

のりと広陵元気が
号を更に利用しやすく



あおき よしかつ

青木 義勝

問 予約型自家用有償運行が、7月から9月末まで無償での試行運行を経て10月より有償で本格運行となる。乗る場所と時間、行く場所を電話またはスマホアプリで予約して運行ルートはAIと運転者にまかす有料乗合バスである。通勤通学に使われている中央幹線バスと運行方法が違うため、事前に運行日時、料金、予約の方法等の説明会が各地で開催され、私もはしお元気村で行われた説明会に参加した。その時、国保中央病院行き始発時間を、8時30分迄にとの要望があり、私も同感で、担当に進言した結果、10月より実施予定となる。こ

のシステムは、アプリ予約が活用の前提であるが、対象者の多数は、運転免許証返納者または、交通難民で、スマホ操作の不得手な人たちであるので、高齢者の集いのサロンに担当者の派遣を求め、アプリ予約の初期設定を頼み、好評であった。利用者の増加は、交通難民減となり、高齢者の外出機会増で、明るく達者になり、現役及び子育て世代の応援団となる。大きな視野から、数値に出ない高い費用対効果を期待して質問する。

① 試行運転の直近のデータ。

② 精査結果の当局の想定内か外か。

③ 経費の総額。

④ 補助金等。

⑤ 公金での公共サービス事業であるので、利用ニーズと費用対効果の接点の件は。

⑥ 事業運営は現の直営か、別機関、例として社会福祉協議会への移行の考えは。

町長

① 9月5日時点、延べ3,300人。アプリ予約は、67.6%。年代で差異はあるが、全世代が利用。

② 想定以上。

③ 約6,700万円。



▲のってね!

④ 令和4年度、約507万円、県より、約440万円。

⑤ 利用者1日当たり60人の利用を目指している。超えると運行台数の増便、運転者の増員も必要となるので、町民のご意見を踏まえ費用対効果も考慮して、鋭意改善する。

⑥ 社会福祉協議会への委託は可能だが、十分調査研究して、現契約後の状況を見極めて協議をして判断する。



まちづくり

ドッグラン試行経過について



問 8月よりスタートしたドッグランの利用者の意見、要望等が出されたと思うが、最新の登録者数は。

9月で試行期間を中断するか、延長をお願いしたい。延長を前提に利用時間の改善が必要と思うが考えは。意見、要望に対する施策を教えてください。

町長

登録者数は8月末現在で64名となっている。
また、利用状況は延べ88頭のご予約をいただいている。



さかの よしひろ
坂野 佳宏

試行期間については、ひとまず10月まで延長させていた
だきたいと考えているが、利
用状況や課題を検討し、最終
判断する。

10月を超えての延長はせず、
結果検証を行いたい。

意見、要望としては5項目
いただいております、感謝の意見
が大半であり、個別には設備
の充実、試行期間の延長、マ
ナーの悪さの指摘、ドッグラ
ンへの税金投入の是非、民間
が行うべきもの等がよせられ
ている。

試行終了後は、検証を行い、
本格実施できるか否かを、精
査していく。

問

試行3か月で中断とは理
解に苦しむ。私は、魅力ある
住みよいまちづくりの施策と
して提案してきた。

現土地は利用がなく、通常

の維持管理のみで費用がいら
ない。

なぜ、中断という回答にな
るのか。町長に回答願いたい。

町長

民間が行っていた多くののが
ベストだと思っている。

11月からも無償で利用して
もよいので、議員が調整し、
運営を利用者が自主運営で
行つてはどうか。

環境保全

プラスチック被覆
使用の現状

問

九州、中国、四国地方では、
被膜肥料の流出防止に農政局
を中心に対策を練られている。

2030年には使用ゼロの
方針も出されている。

広陵町での使用率や殻の流出

被害は出ていないのか。

町長

本町では、水稻用一発肥料
が広く使用されており、令和
4年度販売の9割が水稻用一
発肥料であると伺っている。
被膜肥料は環境負荷の低減や
農作業の省力効果があり、肥
料の投入量の削減が図られる
効果がある。

しかし、田植え前に行う代か
きによって巻き上げられたプラ
スチック殻が、ほ場から河川
を介して海に流出し、生態系
に悪影響を与えると懸念され
ている。

本町では被害は確認されて
いないが、対策として、浅水
代かきや補修ネットの使用な
どを営農経済センターと連携
し、啓発していく。





やつお はるお
八尾 春雄



まちづくり
これまで要望が出ている課題の見通しについて

問 住民から要望がでていない課題について、今後の見通しを問う。

理事者

① 的場中堀医院北側の私有地に、伐採した大量の樹木が積み上げられている件は、同地は農地として登録（現状は雑種地）があり所有者と鋭意協議中。

② 枯木橋からの場橋までの700mにつき改修の要望が地元住民からあり、東側200mは対応できた（舗装・歩道の平準化等）が、今年度は傷みの激しい枯木橋から広瀬川までの改修を予定している。

学校教育
学校教材費について

③ 萱野新戸建て住宅13戸付近の防犯灯は、入居後一年もかかりご迷惑をかけたが、先ごろ3基の設置ができた。

問 教材費や学校給食費を自動引き落としで集金しているが、月によっては一万円を超える場合もある。学校教育に必要なと判断するなら出来るだけ保護者負担を軽減せよ。教材費は公会計に移行して議会のチェックを受けるようにしてほしい。

学校給食費は本年8月末で全国で491自治体で無償化され、中核市や東京都特別区でも拡大している。広陵町もすみやかに無償化にかじを切ってほしい。

理事者



教材費は学校長名義の口座で運用しており問題ない。学校給食費は既に当町でも公費を賄い材料費の一部の購入に充当しており、今後国が制度として整備することが望ましい。

ゴミ
指定ゴミ袋について

問 町の指定ゴミ袋代は製造原価の4倍で高すぎる。当面半額にしてほしい。

理事者

有料ゴミ袋制とこのセンターを運営する組合の経営問題については直接関係はない。



問 天理で10自治体共同で進めているゴミ処理センターでは、ゴミ袋の有料が7自治体、無料が3自治体となっており協議もしていない。わが町では「分別と減量化のために」有料化していると説明しており、蓄えた金を建設費の補填に使用するな。

その他の質問事項

○マイナンバーカードの廃止手続きについて

感染症対策

新型コロナウイルス感染症
対策の現状は



問 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、本年5月8日に2類から5類に移行された。このことにより、行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、自主的な取り組みをベースとした対応に変わった。

秋のイベントや行楽シーズンを迎え、人の往来が本格化する中、感染が更に拡大する可能性が指摘されている。

本町においては、新型コロナウイルス感染症防止への対策は、どうなっているのか。国、県からの指導はどうか。医療機関との連携は、しっかりと取れているのか伺う。

町長

本年5月8日に、外出自粛の要請や入院勧告などの厳しい措置をとることができる「2類相当」から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行された。そのため、感染対策及びマスク着用の考え方は、個人の選択を尊重し個人・事業所の判断が基本となった。町においても感染症への特別な対策はないが、けんこう推進課の保健師が個別に相談対応している。

医療機関には、感染者の治療に当たっていただきたいながら、ワクチン接種にも協力いただいている。無料接種が来年3月31日まで継続され、9月20日から秋開始接種が始まっている。国や県の方針をしっかりと把握し、新型コロナウイルス感染症以外の感染症にも対応すべく努めていく。

ほりかわ としのぶ
堀川 季延

アレルギー

食物アレルギーに関する調査結果について

問 昨年、9年ぶりに文部科学省の委託事業として、食物アレルギーの大規模調査が実施された。公益財団法人・日本学校保健会が、全国の公立小中高校を始め諸学校を対象に行われたものである。

調査結果では食物アレルギーがある児童生徒は、9年前の40万7500人から52万6700人となり、12万人の増加となった。また、激しいアレルギー症状「アナフィラキシー」を起すこともある。

本町においては、アナフィラキシーなどを想定した緊急対応の訓練はされているのか。安全マニュアルの実効性はどうか。前回調査からの変化はどの程度

か尋ねる。

教育長

今回の調査について、前回の調査結果の保存がなく比較できなかったが、毎年同じような調査があり、本町においては食物アレルギーの児童生徒数は、平成28年度の84人から本年度124人に増加している。

緊急対応の訓練は、8月9日に幼稚園・保育園・認定こども園、小中学校の教職員を対象に、全体的な研修を行った。アナフィラキシー補助治療剤のエピペンを打つ判断の難しさも教わった。安全マニュアルの実践的なシミュレーション研修を行った学校もある。

子どもたちが、安全・安心に学校生活を過ごせるよう、関係者相互に連携を図り、共通認識を持って組織的に対応していく。



地区開発

箸尾駅地区開発の進捗状況について



問

①近鉄箸尾駅周辺地区土地利用計画策定及び都市計画道路箸尾駅前線見直し検討業務委託の内容及び地域への結果の広報について。

②箸尾駅周辺地区開発を、今後どのように推進していくつもりか。

町長

①土地利用計画に関して、地域の課題を整理、検討した上で、将来の土地利用のゾーニング案を作成。一方で、県から未着手の都市計画道路路について、在り方検討を行うよう指示があり、ルート案の作成と駅前広場の構想案

子育て

子育ての充実に向けて

②この計画実行には、地域の理解と協力が必要であるため、まちづくりに向けて、地域の組織化を図っていただき、町と一緒に取り組んでいければと考えている。

問

町立幼稚園での給食導入を多くの保護者が希望している。町は実施に向けて検討し取り組んでいるのか。

町長

幼稚園で給食を実施するためには、場所と時間、費用が必要である。本町としては、広

おかもと てるたか
岡本 晃隆

陵町幼保一体化総合計画に基づき、認定こども園の整備について協議を進めている。給食の提供や待機児童の解消に向けて、こども園にスムーズな移行ができるよう努めている。



問

①学校生活において熱中症対策をどのように指導しているのか。

②各校区の危険地域は、いつ、

町長

①県のガイドラインや各種手引きに従い、熱中症の事故防止策を行うよう各学校園に指導している。

②すぐに対応できるものについては即時対応を、それ以外は、毎年秋頃に警察や道路管理者等の関係者が集まり、通学路の合同点検を実施した上で、対策方法を協議し、対策必要箇所を決めている。



どのように改善するのか。また、地域への報告はどのようにしているのか。



福祉

ヤングケアラーの
支援強化について

問 家族の中に介護サービス
を利用されているおじいちゃん・おばあちゃんがいる場合、このおじいちゃんとおばあちゃんに対しては家事支援がなされるが、ヤングケアラーの子ども自身には支援されない。
ヤングケアラーの直接的支援になる「子育て世帯訪問支援臨時特例事業」は、来年度から子ども子育て支援事業のメニューに位置付けられ、引き続き県も一部負担する予定だ。広陵町においても、取り入れていくべきだと考えるがいかがか。



よしむら まゆみ

吉村真弓美

町長

他の市町村でも課題は抱えている。それについては広陵町としても検討しなければならぬが、国からも県からも支援があるので、前向きに考える。

教育

献血教育について



問 献血と骨髄バンクの登録
については、ともに将来にわたって必要な事業であり、患者さんを救うためには、若い世代の継続した協力が不可欠だ。医療機関に安定的に血液製剤が確保されるためには、献

町長

献血については、小さなころから知識としては必要ではないかと思っている。
骨髄バンクの登録と一緒に、何らかの形で進めていきたい。



血可能年齢になる前から将来の献血者として普及啓発することが重要だ。子どものころに学んだことが、献血行動の動機付けになることは間違いな
い。広陵町でも血液について、骨髄バンクについて、学ぶ機会を作るべきではないか。

まちづくり

カーボンニュートラルの取り組みについて

問 再エネの電力の地産地消を
目指して、どのように経済循環していくのか。

町長

町内のため池についても、PPAモデルの検討を加え、事業実現性を探ることとしている。
レジリエンス（災害を乗り越える力）強化の観点からも、PPA電力をその地域で消費すれば地産地消の実現になる。



公共交通

公共交通をもっと
使いやすく



やまだ みつよ

山田美津代

問 のるーと広陵元気号の実証運行中に次の要望が届いている。

- ① 町内の医院前に停留所が欲しい。
 - ② スマホの登録がわかりにくい。
 - ③ 予約しても待ち時間が長く（30分以上待つ）炎天下で待つ来るかわからず辛い。
 - ④ 五位堂駅にも行って欲しい。
 - ⑤ 家に来て欲しい。
- 10月からの本格運行には利用者のご意見を聞き使いやすいように改善を。

町長

- ① バス停から近い医院を周知する検討をする。
- ② アプリ説明会は、要望があれば対応する。

生活支援

軽度生活支援制度
の周知を

- ③ 到着時間を電話予約では、連絡できずシステムの変更をする。
- ④ 交通事業者との共存が必要なので行かない。
- ⑤ 既存公共交通との共存でバス停の形をとっている。

問

高齢者の一人暮らしや老々家庭で室内・庭の清掃、草引き、ゴミ出しなど簡単な家事援助を安価でもらえる制度だが、数年前予算で250万ほどあったこの事業が決算で75万と大幅に減っている。

需要が見込まれるのに審査が厳しいのではないか。チラシも目に付くところに置いて

周知を図るべき。

町長

チラシはさわやかホールカウンターやロビーに置いている。シルバーと協議をし、提供が可能な内容に4月から変更した。シルバーの人員は不足している他の事業者にも委託できるように見直しをして利用いただけるよう取り組む。

生活支援

各学校の暑さ対策
の見直しを

問 地球温暖化で学校最上階や南側校舎などの暑さ対策がある。埼玉では暑すぎて授業が大変と校舎の改修が行われている。是非各クラスの室温を計測されて対策を。来年はもっと暑くなるとの予報も出ている。今から予

算をとるべき。

また、学校内の水道直結のウォーターサーバーなどの設置も検討すべきでは。



教育長

小中学校、校舎最上階は気温が高い、民間のESCO事業で校舎南面の窓に遮熱フィルムを張り付けた。室温計は置いていない。

ウォーターサーバーは水筒持参しているし、小学校は水道水、中学校では冷水機がある。

その他の
質問事項

○生理の貧困問題や取りやすい生理休暇に向けての改善を





ちぎた しんや
千北 慎也

こども政策

**こどもまんなか
社会へ自治体で
できることを**

問 2023年4月にこども家庭庁が設立され、「こどもまんなか社会」の実現に向けた施策が準備されており、秋のこども大綱の策定に向け、こどもや有識者を広く巻き込み議論が進んでいる。議論の過程はこども家庭庁のHPに公開されており、本町としても、現在公開されている情報を積極的に取りに行き、こども大綱に基づく「広陵町こども計画」の2025年度の策定を目指してはどうか。

理事者

2025年度中の策定を目指す。

問 国の資料を見ると、こどもを取り巻く課題は複雑化、多様化傾向にあり、児童虐待の通告件数も増加の一途を辿っている。こうした状況の中、行政だけで全てのこども達の課題を把握し、対処することは難しいと考える。ここで活用すべきは、NPO等の民間団体ではないか。行政として重要な役割は、こうした団体の、立ち上げ支援又は誘致・育成・ネットワークキングを行い、民間団体の力を活用し、こども達のニーズや課題を拾いあげ、多様な対策を打てるような仕組みづくりではないか。その上で緊急性の高いケースへの対応能力を高めるべきではないか。

理事者

情報交換の機会を増やすなど、協力体制の構築を模索する。

問 こども達に寄り添ったまちづくりを行うにはこどもの意見を反映する仕組みづくりが必要であり、まずはこども計画の策定プロセスにこどもを参画させるべきではないか。

理事者

こどもの意見反映に向けて、今年度こども会議の開催を目指している。また、こども計画の策定プロセスにはタブレット端末を活用したアンケートを考えている。

問 アンケートもよいが、こども計画策定の審議会にこどもだけの部会を作ったり、各学校にワークショップに向くなど、こども達が意見を言いやすい環境整備にも努めて欲しい。



第21回

地域のつながり

町内で活動している団体やサークルを紹介します。(活動団体は、営利活動を目的としない公共性・公益性が高いボランティア的な団体を掲載しています。)

ボランティアグループ こうふくかん

1. 設立の目的

町づくりの推進を図る活動の一環として、課外学習として、子どもたちに農業体験の機会を提供し、地産地消費の啓発を行うことに合わせ、食育についての学習の機会を確保することを目的として、平成17年に発足しました。会員数は、現在8人です。

2. 活動内容

町内の全ての保育園、幼稚園、こども園の最年長園児を対象に、広陵町古寺地区内の借地公園(児童公園横)で、活動しています。

- 野菜の植え付け時期は、大根が9月、玉ねぎが11月、ジャガイモが3月。
- 園児による野菜の収穫体験時期は、5月、6月、12月。

植え付けまでに、畝づくりや種まき、苗植えを行い、収穫までに、除草作業や追肥作業などを行います。

また、近隣で作付けされている農園の見学を行い、いろんな野菜の観察も行っています。園児たちが、土に触れ、虫やミミズと戯れたりして、笑顔で楽しく体験している姿を見ると疲れも忘れれます。



みなさんの参加をお待ちしています



▲食育についての学習の様子



▲収穫体験の様子



▲立派なはくさいがとれたよ

問合せ先

広陵町社会福祉協議会 (さわやかホール)

☎0745-55-8300 ボランティアグループ こうふくかん代表 吉川 英敏

委員会の窓

総務文教委員会

議案第64号

令和5年度広陵町一般会計
補正予算(第3号)

質問

現在、見立山公園で行っている子育て支援施設「ポケット」の移転に伴う備品購入費については、どのような備品を購入するのか。また、いつ頃移転するのか。

回答

インターフォンの取り付け、柵、パーテーション、床にひくマット等である。レイアウトや配置等については、シルバー人材センター担当者と、現場確認や打ち合わせを重ね調整した。移転については10月末に閉鎖し、11月1日にエコセンターで開設する。

質問

アピアランスケア支援事業助成金とは、どのような助成

事業か。また、上限を2万円とした経緯は。

回答

がん治療によっておこる外見の変化に対し、その悩みに対処し支援する事業で、医療用ウィッグ・乳房補正具の購入費と考えている。上限額については、ウィッグは医療用であれば十分対応できる。また、乳房補正具についても、最近は数千円から3、4万円で購入でき、十分対応できる範囲と考えている。

質問

土地開発公社に対する防火水槽設置事業負担金21,879千円について、なぜ、今、補正予算に計上したのか。

回答

今回の防火水槽整備は、公共投資の一環として位置づけられている。管尾準工業地区内における水理計算が未整理で

あったが、計算が完了し、改めて防火水槽の規模や個数について奈良県広域消防組合と協議を行い確定した。今回の予算計上は公共施設内に設置する80トン級2基、40トン級1基分について、その経費を町が負担するためのものである。

質問

防火水槽設置に関する予算計上であるが、土地開発公社が大豊建設㈱に支払う金額は、これまでに結んだ契約と変わらないという認識でいいのか。

回答

その通りである。財源の問題として、町からの負担金を今回確定した防火水槽の経費に充てるということである。

全員一致で可決すべきものと決しました。



厚生建設委員会

第3回定例会（9月議会）に上程され、総務文教委員会・厚生建設委員会に付託された6件について審査を行いました。その結果は本議会に上程され採決されます。その主な内容と結果をお知らせします。

議案第63号

広陵町印鑑条例の一部を改正することについて



質問

マイナンバーカードやスマートフォンをお持ちでない方をどのように対応するのか。

回答

今回の改正は、今後スマートフォンに電子証明書を搭載すればマイナンバーカードをお持ちでない方もスマートフォンを使いコンビニで印鑑証明書が受領可能とするための改正である。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第65号

令和5年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

質問

産前産後期間減免措置に伴うシステム改修に関し、どのような制度で保険料がどう減免されるのか。

回答

所得割額と均等割額を減免するもので、単体妊娠は、出産予定月の前月から4か月間が対象。多胎妊娠の場合、出産予定月の3か月前から出産予定月の翌々月の6か月間が対象となる。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第66号

令和5年度広陵町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

質問

保健事業一体化実施委託金とはどのような事業なのか、また、消費税の取り扱いはい。

回答

健診に対する委託料を受け取っているが、この委託料が消費税の課税対象となっているので、申告義務が発生しない一般会計に組み替える。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第67号

令和5年度広陵町介護保険特別会計補正予算（第1号）

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第76号

公私連携幼児保育連携認定こども園設置及び運営に関する協定について

質問

ハザードマップでは建設予定地の一部が50cm未満の浸水想定地域に該当するが大丈夫なのか。

回答

浸水想定される部分については、50cmの盛り土を行うので問題なく、指導監督を行う。



質問

27本の杭撤去に関して、役場管理のもとで実施すれば。

回答

解体時の杭の撤去については、法人等と連携しながら対応していく。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議会日誌



- 8月
 - 4日 国保中央病院組合議会
 - 24日 全員協議会
 - 30日 議会運営委員会
常任委員長会
- 9月
 - 6日 第3回定例会(初日)
 - 12日 第3回定例会(2日目)
 - 13日 第3回定例会(3日目)
 - 14日 第3回定例会(4日目)
 - 15日 総務文教委員会
厚生建設委員会
 - 19日 決算審査特別委員会
 - 26日 議会運営委員会
第3回定例会(最終日)
- 10月
 - 3日 第1回広報編集委員会
 - 11日 第2回広報編集委員会
 - 17日 第3回広報編集委員会
 - 18日 議会報告会(総務文教委員会)
 - 26日 北葛城郡・生駒郡議員研修会
 - 27日 議員懇談会
 - 30日 議会報告会(厚生建設委員会)
奈良県市議会議長会・町村議会
議長会合同全議員研修会

広陵町 議会だより No.123

9月定例会 令和5年11月1日

発行/広陵町議会 編集/議会広報編集委員会
〒635-8515 奈良県北葛城郡広陵町大字南郷583番地1 TEL0745-55-1001 FAX0745-55-1165

広陵中学校
真美ヶ丘中学校
体育大会



暴れん坊将軍



ハヨはこペー



綱引き

馬見
フラワーフェスタ



黄望



議会からの
お願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議員または事務局員が写真撮影に伺うことがございます。その際は、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記



猛暑が、やっと過ぎ去り、ようやく秋らしい気配が感じられるようになりました。
各校園では、体育大会や運動会が行われ、子どもたちが元気に運動する姿が見られました。今年も、第2回広陵町スポーツフェスタイベントが行われます。多くのみなさんの参加を期待しています。体を動かして、楽しく気持ちのいい汗を流しましょう。また、文化や読書の秋でもあります。町立図書館に足を運び、ゆっくりと読書を楽しんだり、中央体育館で行われる文化祭で、絵画や書道などの文化的作品を鑑賞するのもいいですね。

さて、9月議会は、令和4年度の決算を審査する議会でした。町の各事業についての決算を、慎重に審査しました。その結果、できた課題や継続事業については、的確に実行及び改善していくことを訴えました。
これからも、みなさんとともに、町民を守り、生活を守るための活動に取り組んでいきます。

- 広報編集委員会
- 委員長 千北 慎也
 - 副委員長 山田 美津代
 - 委員 堀川 季延
 - 委員 吉村 眞弓美
 - 委員 岡本 晃隆
 - 委員 岡橋 庄次



広陵町ホームページ
<http://www.town.koryo.nara.jp>

